

私たちの「仲間たち」

279

異変が起きた？

2月号で「ウソ」について書いた。物見山(東松山市)で5年ぶりに再会できたのがうれしくなってそのことを書いたが、「私も見た」という声が続く寄せられた。「広報の写真を見ていたのですぐウソだと分かった」というのもあった。こんなことを聞くと本当にうれしくなる。しかし、この冬はウソだけではなかった。籠脱け鳥のソウシチヨウが20〜30羽の群れをつくって藪の中を駆け回っていた。この鳥も数年姿を消していた。そこに加えてミヤマホオジロが石坂の森に姿を見せたのだ。



▲鳩山の動植物
ミヤマホオジロ (ホオジロ科)

写真を見ていただきたい。モノクロで分かりづらいが、ホオジロに似ていながら、頭がトンガリ(興奮するとなるらしい)、眉斑とのど元が鮮明に黄色い。これが目立ってとても美しい。カシラダカ、アオジなどと混在しながら餌をあさっている。

日本には冬鳥として各地に渡ってきて、本州以南で越冬する。低地や低山帯の藪の下などの地上で餌をとる。繁殖などの生態については詳しいことは不明らしいが、ひとえにこの鳥が注目されるのは、トンガリ頭と眉斑とのど元の黄色い美しさにある。

こんな被写体をカメラマンが放っておくはずがないと思っていたら案の定、どこでどう情報がいきわたるのか連日のように10人ぐらい集まってきた。大砲のような望遠レンズ付きカメラを震度5の地震にも耐えられるような三脚にセットし、10メートル先の目標に焦点を合わせる。止まり木をつくり、餌がまかれる。そしてご丁寧にも紅梅の枝が添えられる。季節感を出したいのだからか。人の趣味にケチをつけるつもりはないが、ミヤマホオジロ狂奏曲のために、どれほどの通行人が行く手を遮られているか、そういうことにも神経を働かせてほしい。

(写真・松田幸弘/文・鈴木伸)

人口と世帯

3月1日現在、()は対前月比		
人口	14,890人	(-27)
男	7,376人	(-6)
女	7,514人	(-21)
世帯	5,794世帯	(-3)
2月の出生数	4人	

4月の納税・納付

- ◆普通徴収(随期)◆
町県民税・固定資産税・国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料
水道料金 (2・3月分)
- ◆特別徴収◆
介護保険料(特別徴収) (第1期)

編集日記

▼草木が萌えて芽ぐみ、花々がつぼみをつけ満開する春。1年の中で最も光り輝く、人々にとつても穏やかで過ごしやすい季節がもうすぐ訪れようとしています。この時は卒業式、入学式、人事異動があり、出会いと別れ、新たな生活のスタートの季節でもあります。鳩山中学校卒業式では、毎年、卒業生から保護者と恩師への感謝の気持ちや在校生へのエールを込めた別れの言葉に、遙かかなたの15の春を思いださせてくれます。ひとまわり大きくなっていく子どもたちの姿を見るのは、うれしい反面、寂しくも感じます。会場には、目頭をハンカチで押さえる保護者の方が何人もいらっしゃいました。

今回、4月の人事異動で広報担当を離れることになり、今月号が担当として最後の広報紙となりました。平成18年4月から7年間、取材でお世話になった方など多くの方にご協力いただき毎月発行することができました。本当にありがとうございました。今後「広報はとやま」をご愛顧頂きますようお願いいたします。㊟